九州大学　スーパーグローバル大学創成支援事業のロジックモデル
戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成

Open Mind, Creative Spirit
KYUSHU UNIVERSITY

背　景

- ▶ 経済社会・高等教育のグローバル化
- ▶ 生産年齢人口の減少
- ▶ デジタル革命・イノベーション創発の必要性
- ▶ 都市一極集中と地方創成
- ▶ 存在感ある国づくり：高等教育外交

求められる大学の役割
＝国の成長を牽引する知的拠点

インプット

SGU予算

▶人件費
特定有期ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ教員
学術研究員等

▶物品費
学務情報ｼｽﾃﾑ
設備備品等

▶旅　費
留学生ﾘｸﾙｰﾄ
職員の海外研修等

▶その他
海外拠点運営
英語版ｳｪﾌﾞｻｲﾄ改訂等

自主財源

▶競争的資金
▶寄付金等
▶運営費交付金等

アクティビティ

1. 教育システムの国際化推進
①共創学部の設置
②教育改革推進本部の拡充
③ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ学生交流ｾﾝﾀｰの設置
④ｱｸﾃｨﾌﾞ学習･ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ教育の推進
⑤国際ｺｰｽ・DDﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの拡充
⑥短期留学ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの拡充

2. 研究の国際化推進
①ｴﾈﾙｷﾞｰ研究教育機構の設置
②ｱｼﾞｱ･ｵｾｱﾆｱ研究教育機構の設置
③人社系協働研究教育ｺﾓﾝｽﾞの設置
④ﾀﾞｳﾞｨﾝﾁﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ始動
⑤若手研究者支援制度の整備
⑥研究支援分析ﾂｰﾙ導入

3. 国際化を支えるガバナンス・制度改革
①持続的人材育成戦略
（ﾙﾈｯｻﾝｽﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ）
②ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨの推進（SENTAN-Q）
③推進体制と戦略の整備
④活性化制度による部局組織の改革
⑤人事制度改革
⑥IR室の設置
⑦職員の国際化研修

4. 国際的評価の向上
①国際広報の強化
②国際会議の招致
③RMｾﾐﾅｰの開催
④ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞの活用

5. 留学生・外国人研究者に対する環境づくり
①伊都ｷｬﾝﾊﾟｽ・国際村の整備
②部局ﾚﾍﾞﾙの国際化対応組織の充実
③学内文書の二言語化

6. 海外拠点の整備充実
①戦略的ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟの推進
②ｱﾝｶﾗｵﾌｨｽ（ﾄﾙｺ）の設置
③海外大学連携の強化
（RENKEI-UK, MIRAI-ｽｳｪｰﾃﾞﾝ）

アウトプット

徹底した大学改革と国際化

A. 国際化関連 [1,3,5,6]
(1)大学内の多様性が増大
(2)学生の国際流動性が増大
(3)学生の派遣・受入体制が整備
(4)学生の語学力が向上
(5)教務ｼｽﾃﾑが国際化
(6)大学が国際的に開放

B. ガバナンス改革関連 [3]
(1)人事制度が改善
・年俸制の導入が拡大
・外国人教職員の雇用が促進
・事務系職員の高度化が促進
(2)ガバナンスが改革
・事務系職員の高度化が促進
・意思決定に外国人が参画

C. 教育の改革的取組関連 [1]
(1)教育の質が改善
・教学ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄが波及
・TA制度が改善
(2)大学の入試が改善
・多面的な入学者選抜が促進
(3)柔軟なｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ﾊﾟｽを提供

D. 研究力の強化関連 [2,5,6]
・ﾌﾗｯｸﾞｼｯﾌﾟ研究が多様化
・国際共著論文が増加
・若手研究者が増加

E. 国内外の認知度向上 [1,2,3,4]
・研究者評判/雇用者評判が向上
・大学ﾗﾝｷﾝｸﾞが向上
・広報関連ｲﾝﾀｰﾅﾙｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝが向上

初期アウトカム

Ⅰ. ガバナンス [A, B]
・国際化を組込んだ意思決定
・透明かつｱｶｳﾝﾀﾋﾞﾙな意思決定
・ｴﾋﾞﾃﾞﾝｽ重視の政策決定
・国際化への学内意識の醸成

Ⅱ. 組　織 [A, B]
・ｷｬﾝﾊﾟｽの国際化が浸透
・人事ｼｽﾃﾑの整備
・事務職員のｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化が浸透
・自律的な組織改革の定着
・自己資金調達力の向上

Ⅲ. 教育・研究（ﾊﾞﾘｭｰ･ﾌﾟﾛﾎﾟｼﾞｼｮﾝ）[A, C, D]
・教職員が多様化
・学生の国際流動が向上
・留学支援体制（受入/派遣）が強化
・質の保証を伴った国際水準ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの展開
・研究者の国際流動の強化
・優れた研究/高度な研究を生み出す環境の醸成

Ⅳ. レピュテーション [C,D,E]
・国際情報発信思考の定着
・知名度、ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化の進展

中長期アウトカム

大学の体質改善により組織文化が変化

研究・教育ポートフォリオの組換え
・世界標準の教育研究の拡大
・学術基礎から社会実装までｶﾊﾞｰする研究力
・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝの創出

グローバルハブキャンパスの形成
・多様で秀逸な人材が集結
・多文化共生の定着
・世界的ﾘｰﾀﾞｰの育成拠点
・DX（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）を基盤とする国際化
・未来型ｷｬﾝﾊﾟｽ創出

補助金終了後の自走化

成果の普及

国際競争力の強化

国際通用性の向上

高度な頭脳循環・優れた人材育成基盤の確立

インパクト

活躍する人材
・世界と伍して活躍する人材の輩出
・ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ創出を担う人材、学術研究をﾘｰﾄﾞする人材、豊かな経済発展を支える人材としての活躍

新たな知／深まる知
・技術革新への貢献
・地球規模課題解決に向けたｱｲﾃﾞｱを生み出す
・人間や世界を理解、認識の深化を先導する知性

世界をリードする
・九州経済を牽引、国際競争力の原動力
・未来を共創する大学
・世界の持続的発展に貢献する
・地球環境と人類社会への貢献

他大学への波及

大学国際化の技法の波及
大学の九州ブランド・日本ブランドの展開

外的要因

コロナ禍による
グローバル化の変質

- ▶ 世界経済の停滞
- ▶ 国際的流動性の縮小
- ▶ 新常態の出現

九州大学の理念の具現化

自律的に改革を続ける
教育の質を国際的に保証する
常に未来の課題に挑戦する

九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

活力に満ちた
世界水準の研究教育拠点